





## フェラーリ126C2

1982年、126C2は、不発に終わったフェラーリ初のターボマシンである126C発展型としてデビュー。エンジン・トランスマッisionは、フェラーリ水平対抗12気筒時の立役者であるマウロ・フォルギエリ、シャーシをウルフWR1を設計したハーベイ・ポスルスウェイトが担当した。燃焼効率、耐性を向上させたターボエンジンと、従来のチューブラフレームからアルミハニカムのモノコックを採用、サイドポンツーンを流れるグランドエフェクトとし、126C2の戦闘力は飛躍的に向上。この年コンストラクターズ・タイトルを獲得している。

## 27. ジル・ビルヌーヴ (Joseph Gilles Henri Villeneuve) 国籍: カナダ

恐れを知らぬエキサイティングなドライビングスタイルと、その悲劇により今尚語り継がれる伝説のドライバー。ベルギー・ブルダーサーキットで、非業の死を遂げる。(1950年1月18日 - 1982年5月8日)

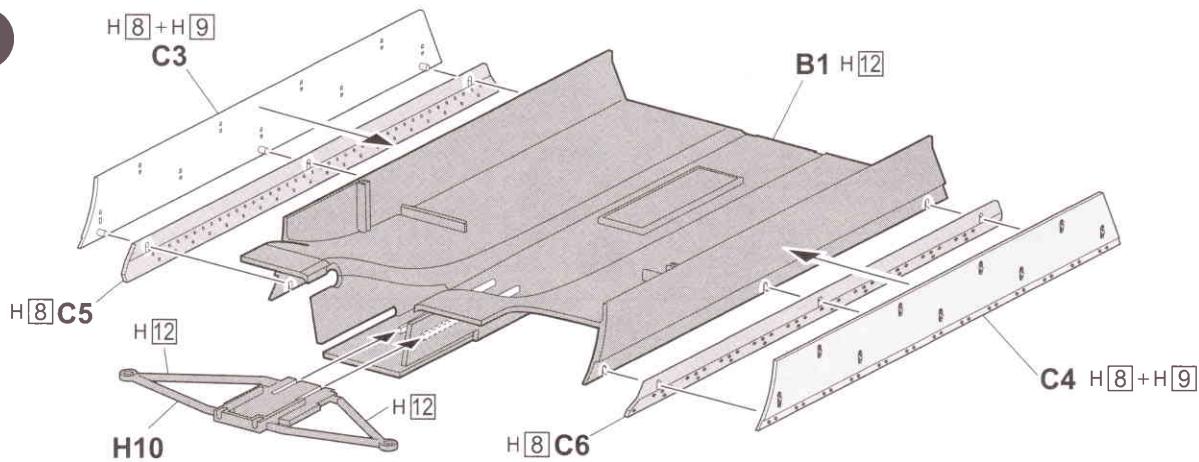
## 28. ディディエ・ピロニー (Didier Pironi) 国籍: フランス

1978年にティレルからF1にデビュー。1981年リジェより、フェラーリに移籍。ヴィルヌーヴとは、チームメートでありながら常にライバルという関係であった。(1952年3月26日 - 1987年8月23日)

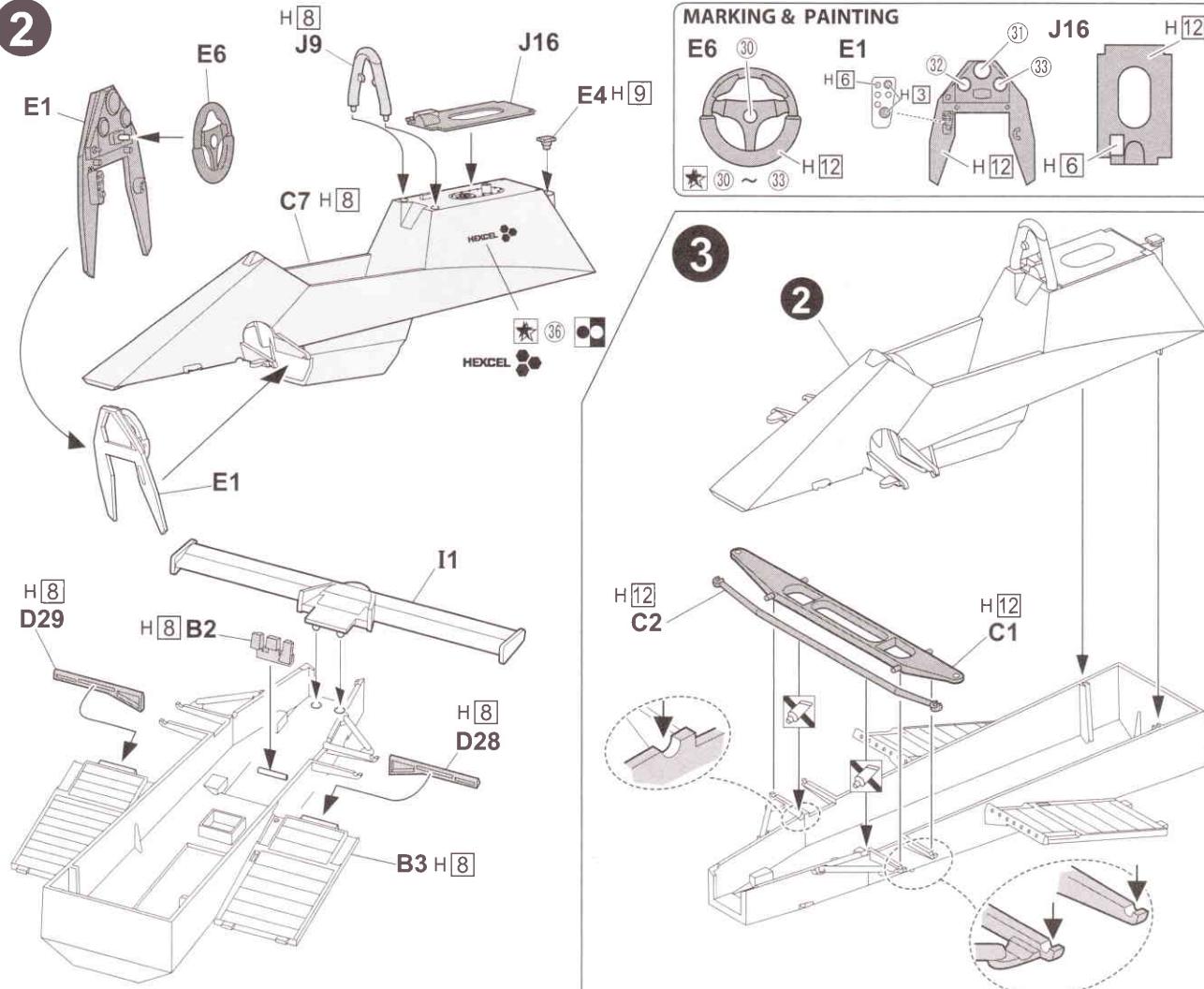
## ■組み立て

組み立てには特に指示がある場合を除いて接着剤を使用して下さい。 USE GLUE TO ATTACH PARTS UNLESS OTHERWISE INDICATED.

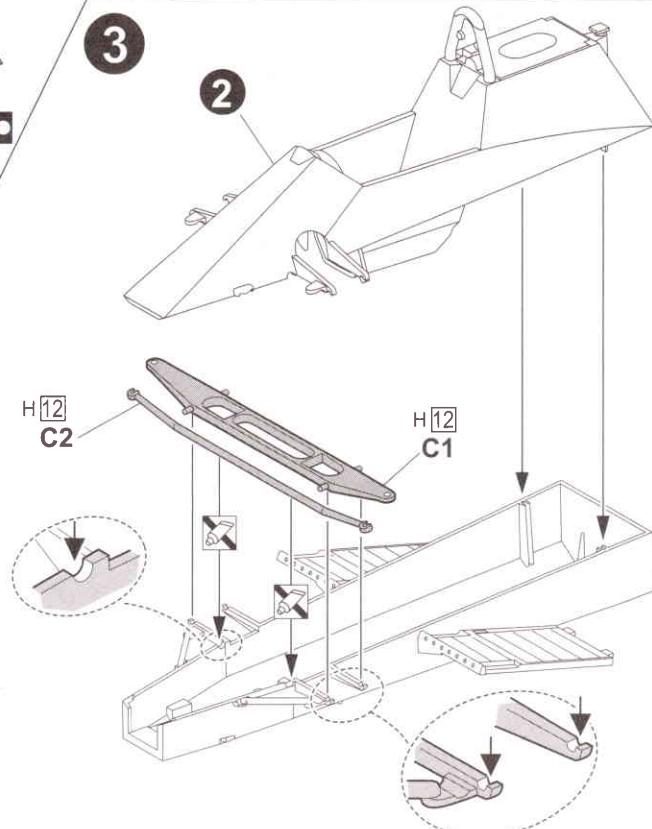
1

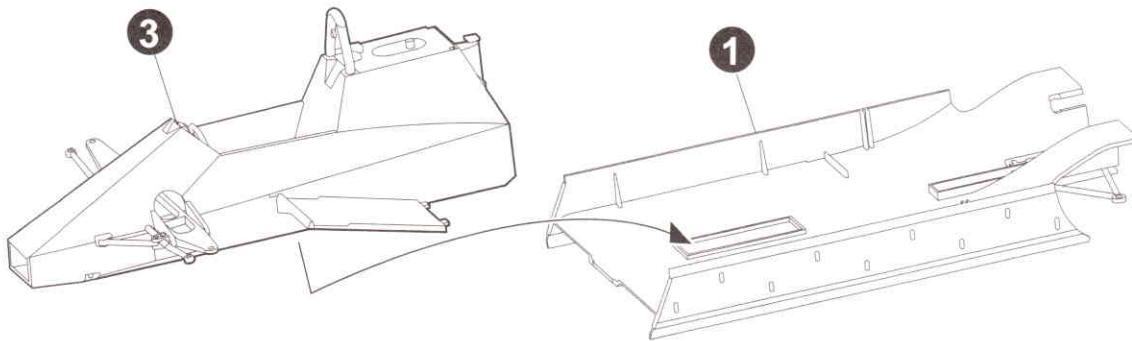
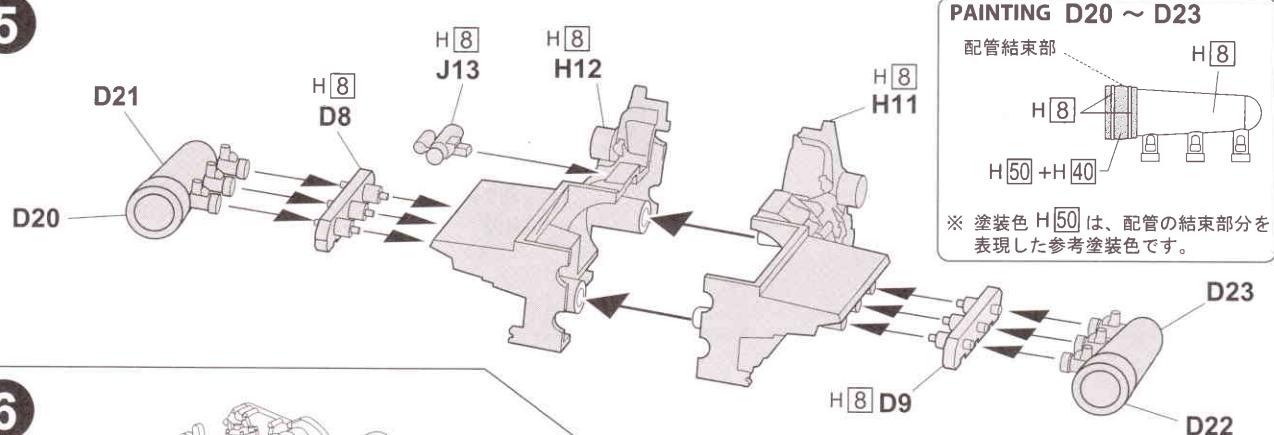
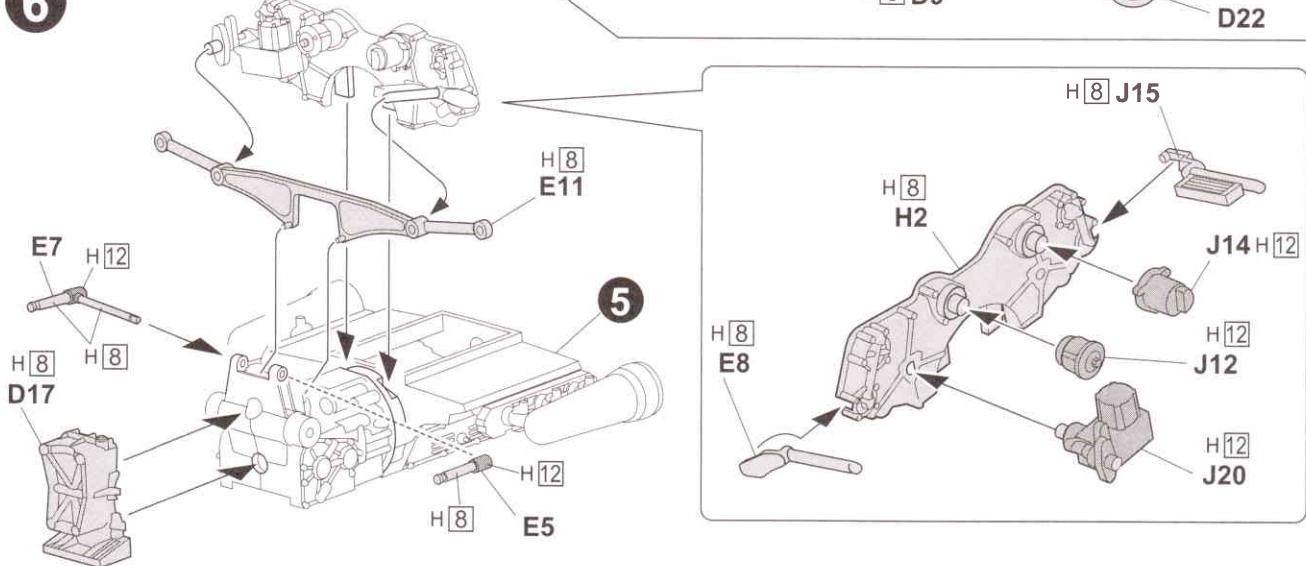
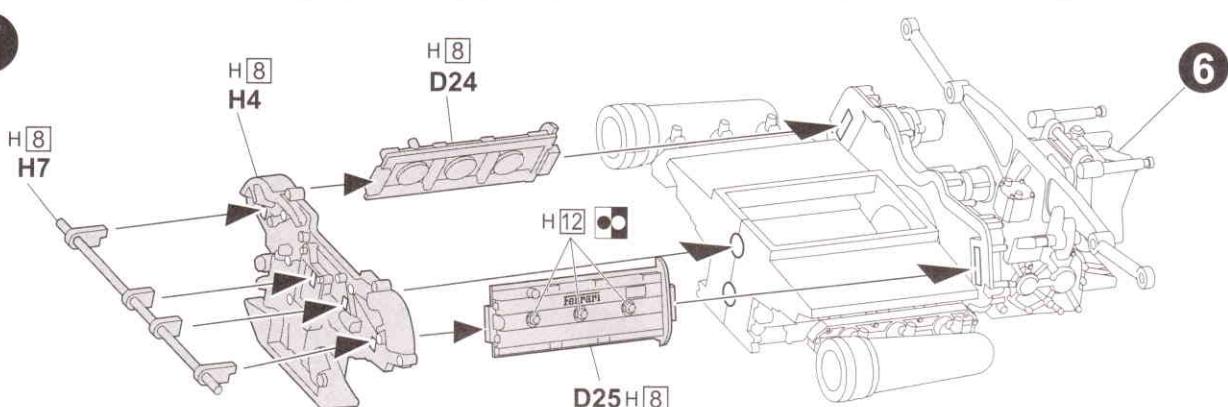


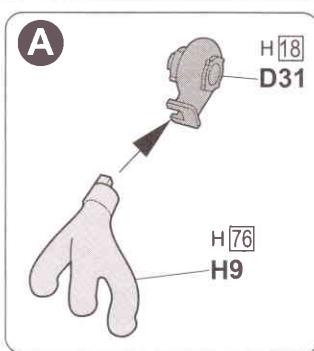
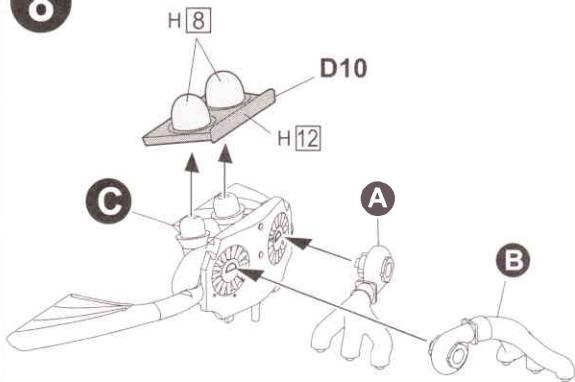
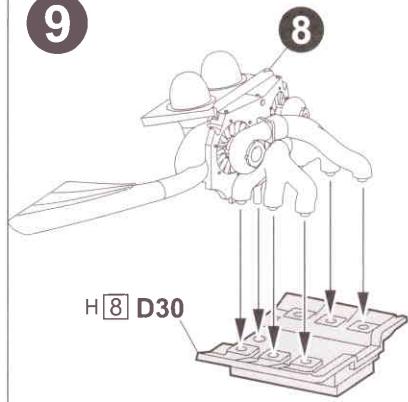
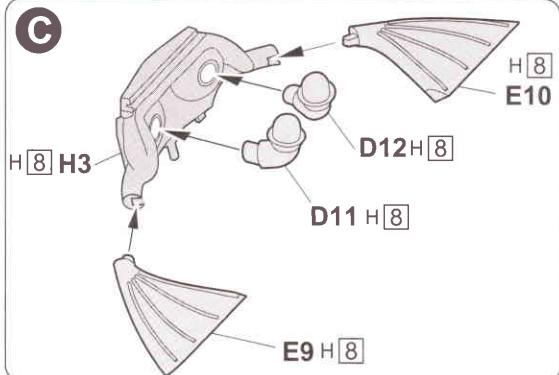
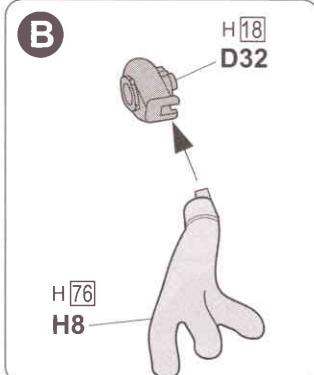
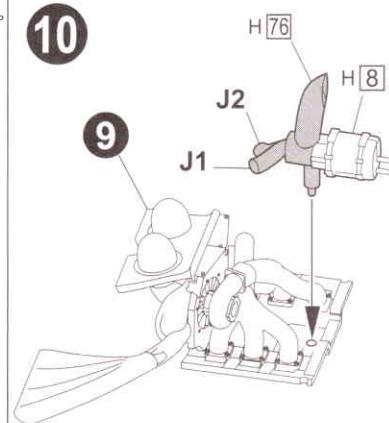
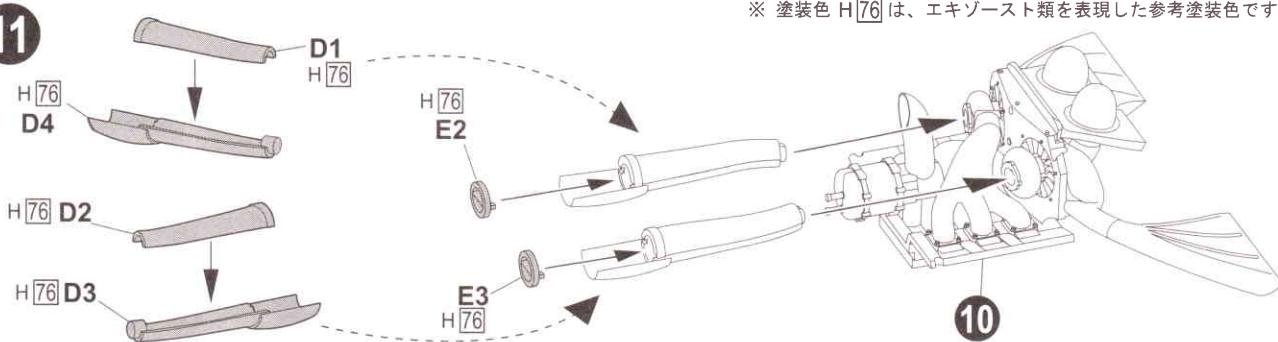
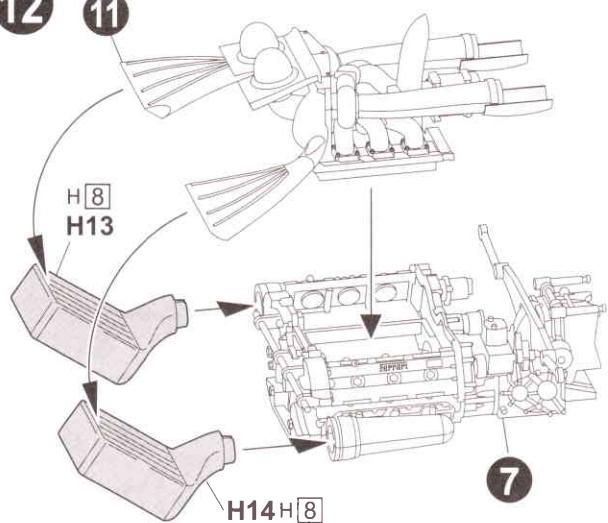
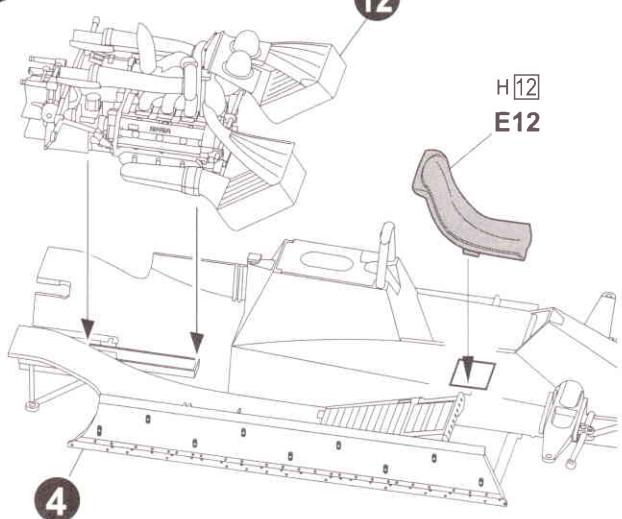
2



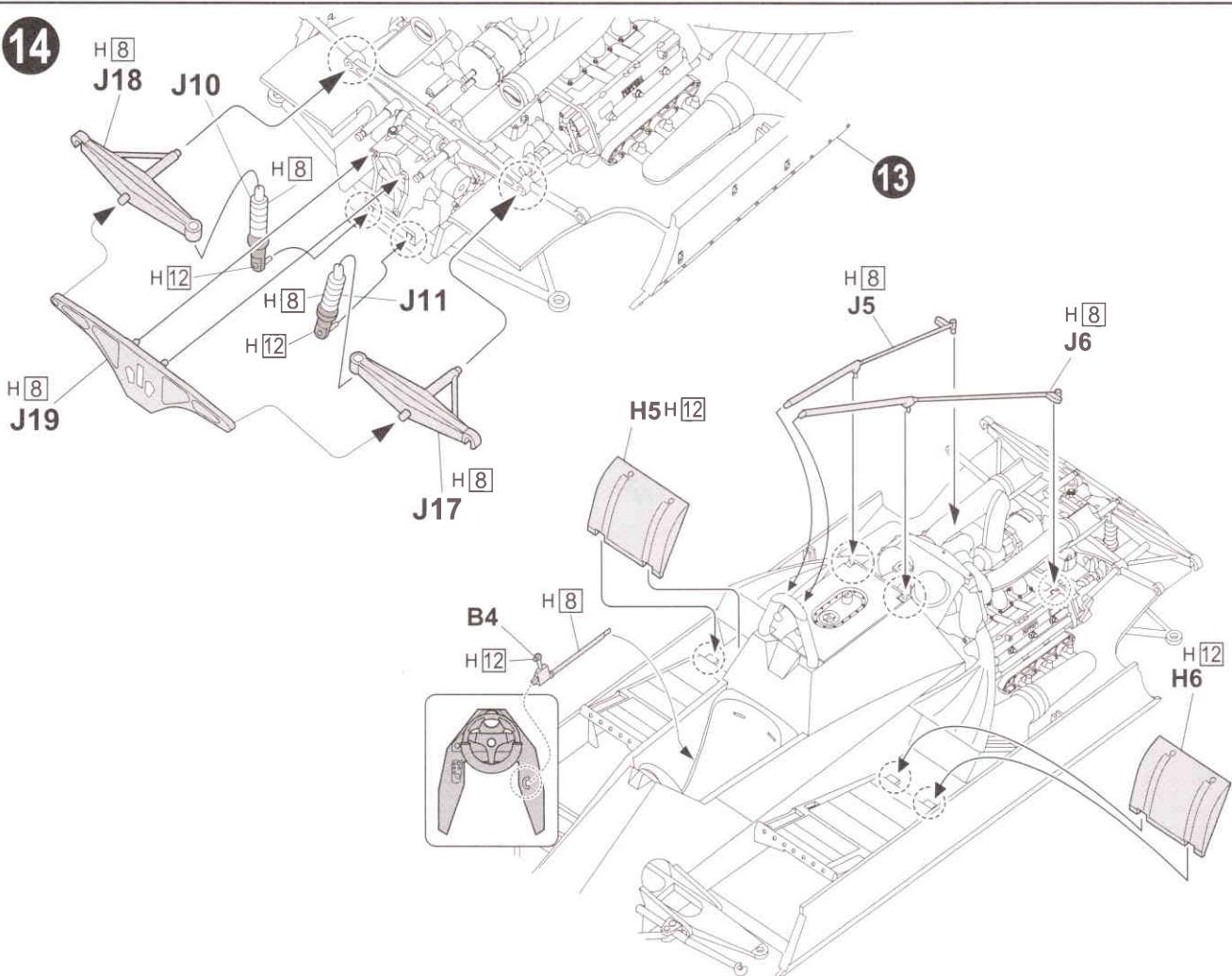
3



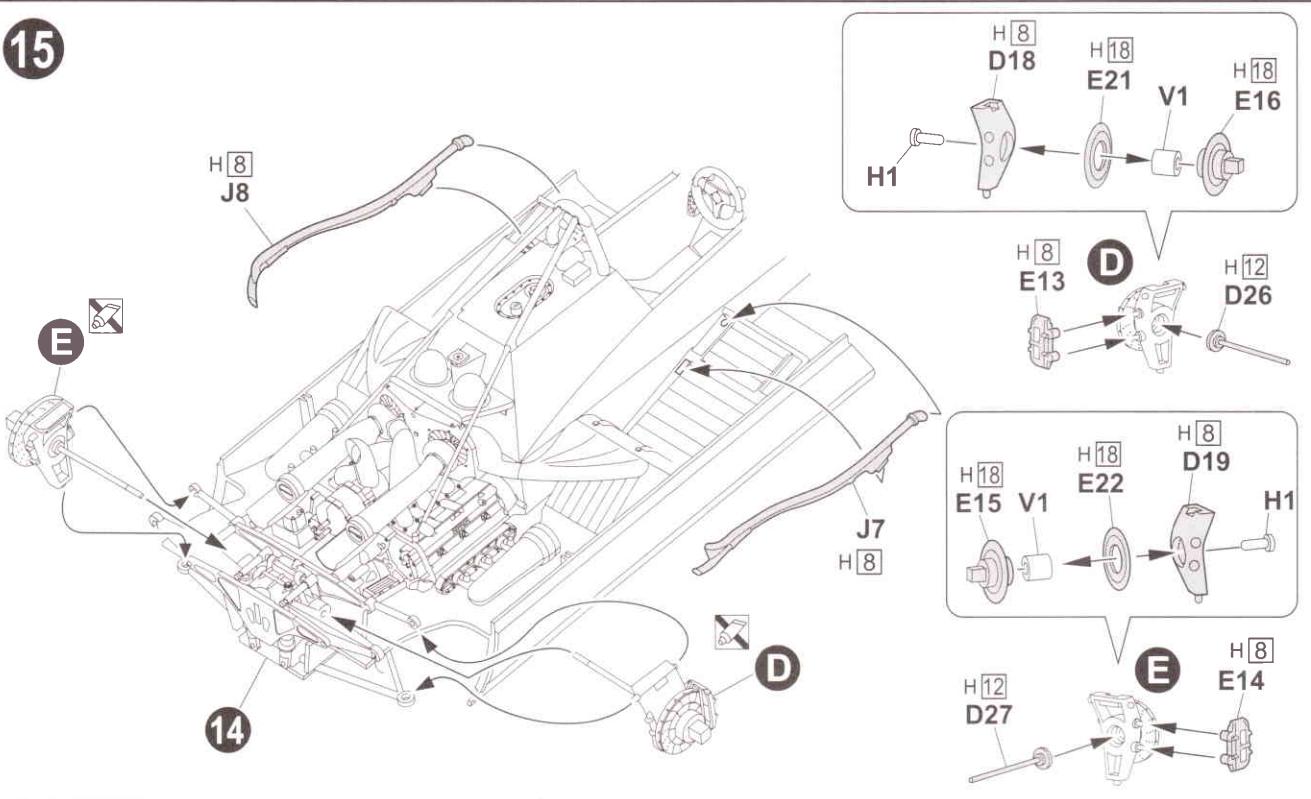
**4****5****6****7**

**8****9****C****B****10****11****12****13**

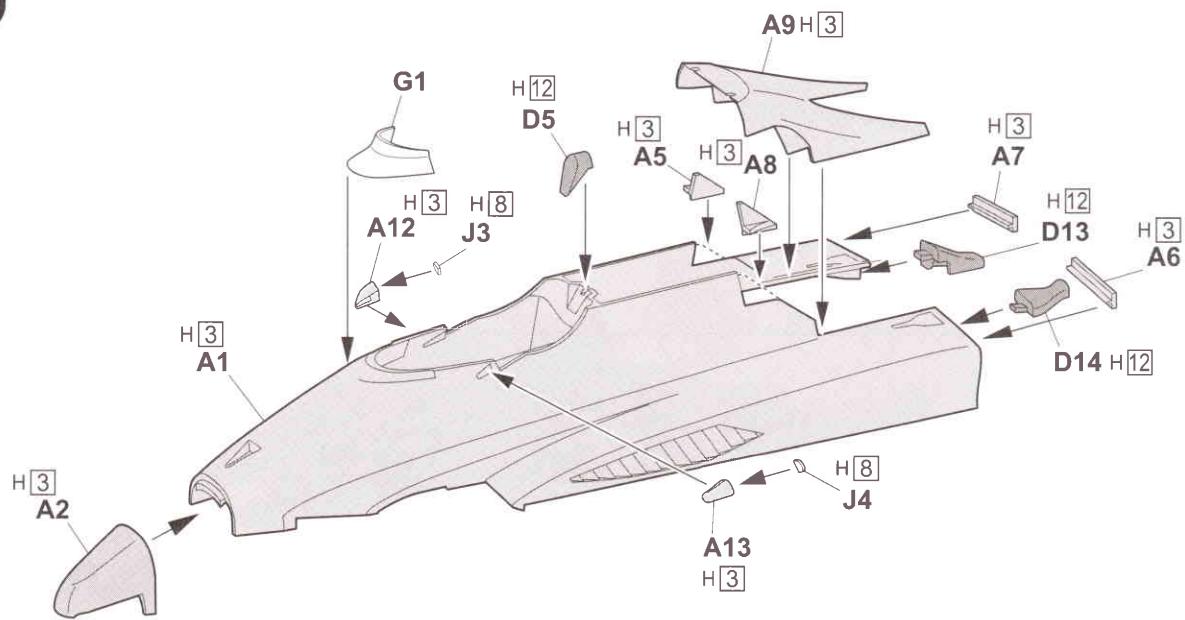
14



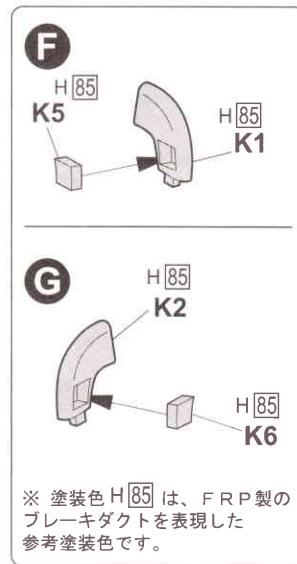
15



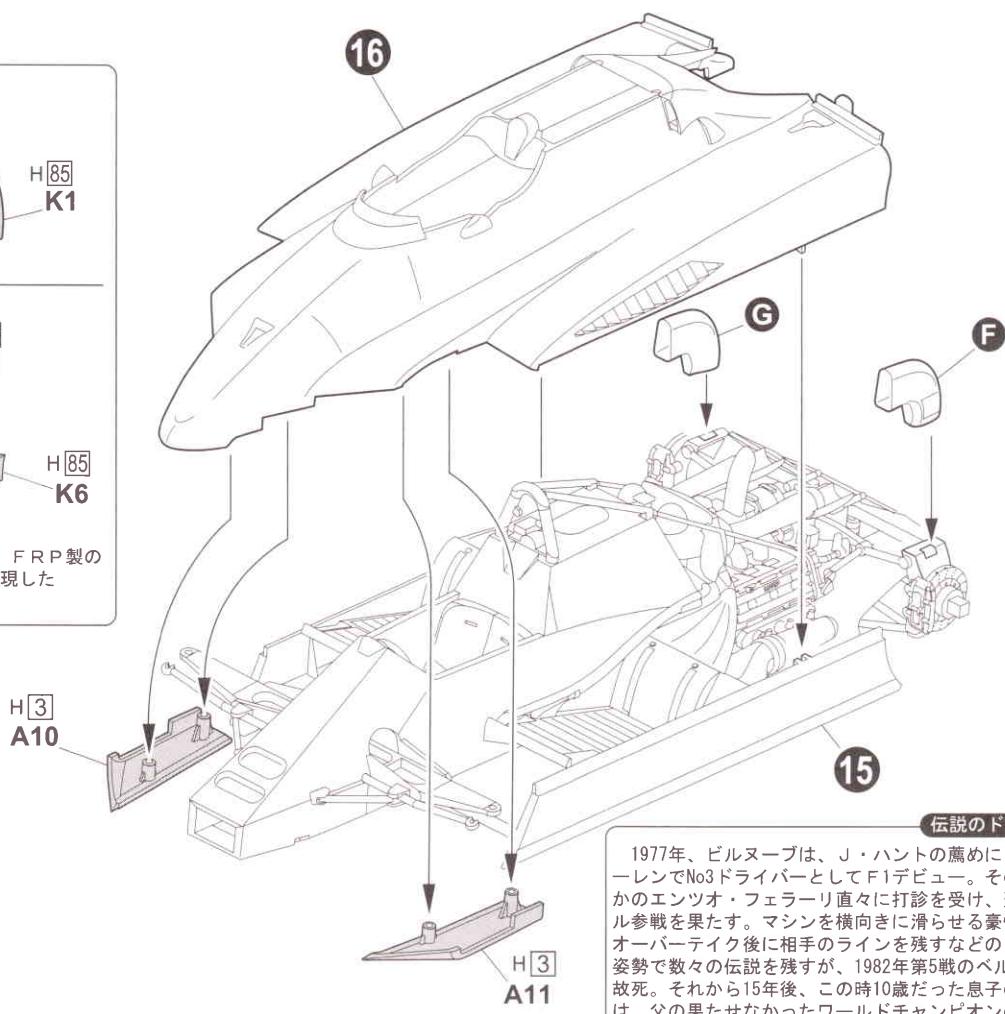
16



17



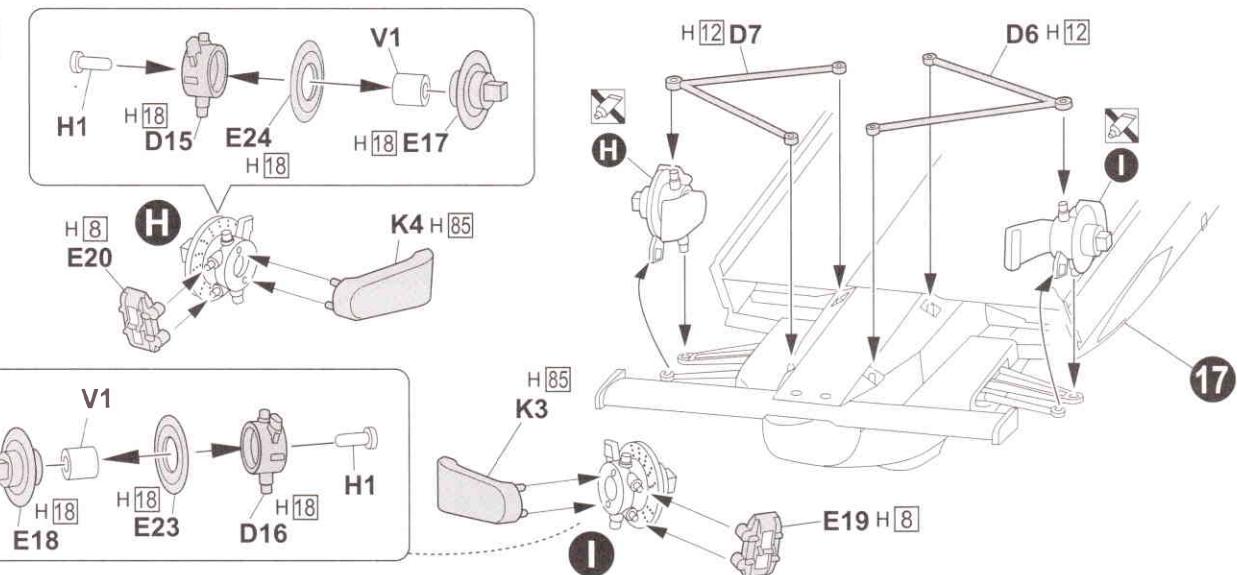
※ 塗装色 H[85] は、FRP製の  
ブレーキダクトを表現した  
参考塗装色です。



**伝説のドライバー**

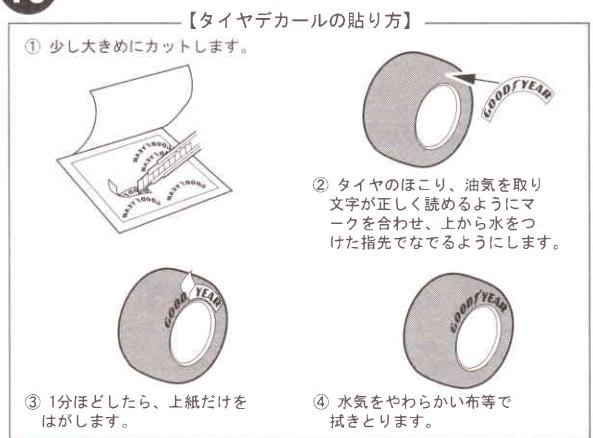
1977年、ビルヌープは、J・ハントの薦めによりマクラーレンでNo3ドライバーとしてF1デビュー。その年の後半、かのエンツォ・フェラーリ直々に打診を受け、翌年よりフル参戦を果たす。マシンを横向きに滑らせる豪快な走りと、オーバーテイク後に相手のラインを残すなどのクリーンな姿勢で数々の伝説を残すが、1982年第5戦のベルギーGPで事故死。それから15年後、この時10歳だった息子のジャックは、父の果たせなかつたワールドチャンピオンのタイトルに輝いたのであった。

18

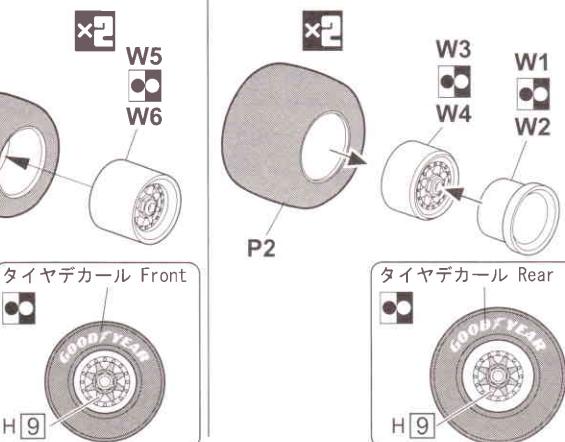


17

19

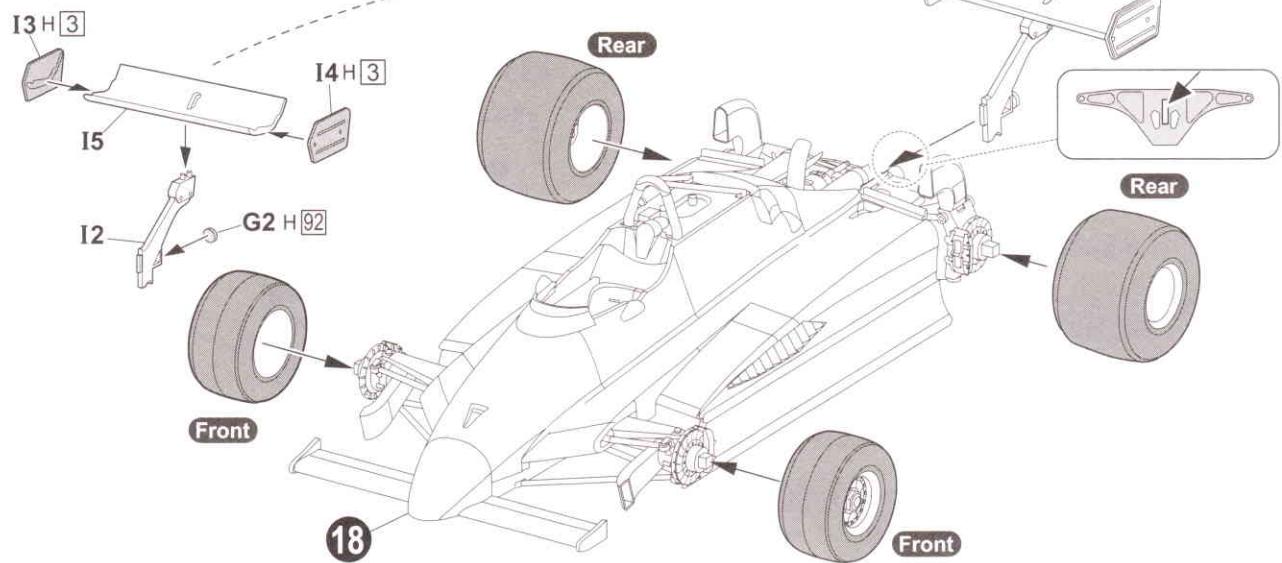


Front



Rear

20

完成  
Finish

FUJIMI

www.fujimimokei.com

## Fe - 126C2 GRADE UP PARTS

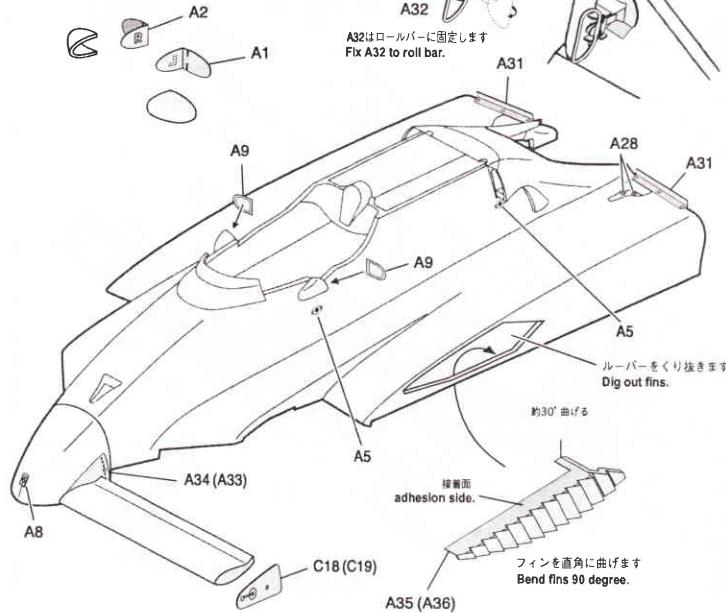
[ FUJIMI 1/20 GPシリーズ No.1 126 C2 対応 ]

**CAUTION**

- ◆この商品は、小さな部品や尖った部分などがあります。取扱いには十分ご注意下さい。
- ◆組立の際に出たクズは、すぐに捨てて下さい。◆幼児が誤って飲み込んだりケガをすることのないようご注意下さい。
- ◆対象年令18才以上です。
- ◆Choking hazard. Keep out of reach of children at all times. ◆Photo etched parts are razor sharp. Use caution when handling. ◆Place all spools in a secure trash container immediately to avoid injury.
- ◆Not suitable for children under 18 years old.

ミラーの自作方法  
Mirror scratch builds

A1,A2をミラー面、カウルとの接着力面(R,Lのモールド面)とし  
ミラーカバー部をキットバーをもとにひとまわり大きく  
ヒートプレスしたりエッキングにエボキシパテをもりつけて  
自作します。



A14,A17をガイドにして翼端板AC18,19,15の裏面に  
ウイングの固定位置をケガキ針等でスジを付けておきます。  
ひっくり返せば左右両側のバーツに使用できます。  
(注:接着するバーツではありません! )  
A14, A17 are not an adhering parts and pattern for  
fixed position of the wing.

